Indegene Japan合同会社

会社説明

Indegene Japan合同会社は、世界のヘルスケア業界のデジタル変革をリードする、Indegene Ltd.の日本における拠点です。Indegeneは1998年に設立され、以来、製薬、バイオテクノロジー、医療機器など、ライフサイエンス分野の企業に特化したソリューションを提供し続けています。日本法人は2020年6月15日に設立され、東京都千代田区丸の内トラストタワー本館20階に本社を構えています。代表者には高石和生が就任しており、資本金は100百万円です。

Indegeneの事業の中核は、「ヘルスケア領域の専門知識」「目的に適したテクノロジー」「アジャイル・オペレーティング・モデル」の三位一体の組み合わせにあります。この独自のフレームワークにより、製薬企業が直面するオペレーションの課題や、市場における競争上の優位性を維持するためのスケーラビリティ、柔軟性の両立を実現します。これは、患者、医師、規制当局といった多様なステークホルダーそれぞれに対する緻密なパーソナライゼーションを実現しつつ、グローバルおよびローカル市場の要件に効果的に適応することを可能にします。

具体的なサービスは多岐にわたり、製薬企業のバリューチェーン全体をデジタルで最適化します。 まず、「クリエイティブ及びコンテンツ・サービス」では、様々なタッチポイントを理解したうえで、既成概念にとらわれないクリエイティブな戦略を定義・実行します。革新的なデザインとインテリジェントなメッセージングを通じて顧客との強固なつながりを構築します。特に、コンテンツのサプライチェーンの課題を克服し、パーソナライゼーションとスピード、再利用を推進するための安定したコンテンツエンジンを提供している点が強みです。事例として、インデジーンのサポートにより、グローバル製薬企業のコンテンツ・ワークフローが50%短縮された実績があり、効率化における高い効果を証明しています。 次に、「マーケティング・オペレーション」では、資材レビューのオペレーションとコンプライアンスを支援し、業務の効率化とエクセレンスを同時に追求します。 さらに、「メディカル・インフォメーション及びコミュニケーション」サービスでは、顧客ケース管理や学術的な情報提供を強化し、アジア太平洋地域（APAC）市場におけるエンド・ツー・エンドの臨床試験データ公開ソリューションなどを実現しています。

グローバルな観点では、Indegeneは世界20カ国以上で事業を展開し、従業員数は4,100名（2024年末時点）を超えます。この大規模かつ専門性の高いチームが、日本の製薬企業がグローバルおよびローカル市場の要件に効果的に適応し、患者、医師、規制当局それぞれへのパーソナライゼーションを実現するための支援を行っています。Indegeneは、「#Future Ready Healthcare」の実現をミッションに掲げ、医療・製薬業界の未来を形作るパートナーとして、そのデジタル変革を強力に推進しています。

会社概要

本社所在地
日本

事業内容
ヘルスケア領域の専門知識、テクノロジー、アジャイル・オペレーティング・モデルを活用し、製薬・医療機器企業向けにデジタル変革ソリューションを提供。主要サービスは、クリエイティブ及びコンテンツ・サービス、マーケティング・オペレーション、資材レビューのコンプライアンス支援、メディカル・インフォメーション及びコミュニケーション。

代表取締役
星野宏彰

設立年
2020年6月15日

資本金
100百万円

従業員数
11 - 50人

URL
https://www.indegene.com/japan

オフィス情報

メインオフィス
〒1000005
東京都 千代田区 丸の内1-8-3
丸の内トラストタワー本館20階